



2018

業界・組合リーダーの 年頭所感



新年を迎え、業界並びに中小企業組合のリーダーの皆様、業界の現状、新年の展望等について、ご寄稿いただきました。

— 順不同・敬称略 —

製造業



伊勢崎織物協同組合

理事長 田村直之

新年明けましておめでとございます。
さて、昨今の織物業界を取り巻く環境は、経営者の高齢化や後継者問題、そして着物離れなど課題も多く、厳しい状況が続いております。

このような中で、当産地の「伊勢崎絨」は群馬県内では数少ない国の伝統的工芸品に指定されていることから、この貴重な伝統文化を継承することが当組合に課せられた重要な使命の一つであります。

本年も和装文化の普及推進活動をはじめ、伝承に関する調査研究に取り組んで参りますので、皆様方の深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のあいさついたします。

太田機械金属工業協同組合

理事長 坂本正堂

輝かしい新年を迎え心よりお喜び申し上げます。
昨年、世界経済は年初から新アメリカ大統領誕生からの政策不安や北朝鮮問題が大きく深刻化するなかでのスタートとなりました。

先行きに対する不透明感が払拭出来ないままの状況が続きましたが、インドやASEANなどの好調維持による改善基調が続いた年でもありました。

また、国内を見ると個人消費の拡大等により実質GDP成長率は7四半期連続プラスを示すなど国内経済は概ね好調を示した一年であつたと思います。

当地域においては自動車産業を中心に堅調な動きが見られた年となりましたが、とりわけ中小企業にとっては労働力不足問題、また、生産性向上といった課題に常に取組みながらの一年でもありま

した。

加えて本年は改正労働契約法の施行等による2018年問題への対応を迫られる年でもあり、働き方改革等の推進、雇用環境の改善等に、より一層、力を注いでいかなければなりません。

そして世界は第4次産業革命へと歩みを進めつつ、大きな変革の流れが勢いを増してくるでしょう。我々中小製造業にとりましても、この流れを見据え一歩一歩前進の年としたいと思えます。関係各位のご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

桐生織物協同組合

理事長 牛腸章

すがすがしい新年を迎えられたことと心からお慶びを申し上げます。

さて、昨年の日本経済は、大企業の不正露呈や巨額損失・経営破たんが相次ぐ中にありながらも、好決算や株価の上昇などもあつて、「確実に回復している」とのことでありました。

しかしながら、桐生織物にとつ



ては、婦人服地の不振や、ブームと言われながらも和装産地の活性化に結びつかない現況など、相変わらず厳しい環境下の一年でありました。

新たな年を迎え、後継者難となつている「織物関連工程」の充実など、当産地が抱える諸問題解決に積極的に取り組み、「今も桐生の織維は元気だ」と言わしめるため、本年も「織都桐生千三百年」の歴史が証明する産地技術にさらに磨きをかけ、組合員企業の繁栄のため鋭意努力いたして参りますので、皆様には、一層のご指導、ご支援をお願い申しあげます。

群馬県印刷工業組合

理事長 吉田 吉太郎

新しい年を迎え心からお慶びを申し上げます。

御高承の通り、中小企業各業態の激変と少子高齢化の進展に伴う労働力人口の減少と需要の縮小といった潜在的な動向が予測されていますが、私共印刷業界においても様々な激動が起こっており、本年は今まで経営に影響を与えてこ

なかつたような問題が表面化する年になると思われます。

M & Aに類するような買収や提携による著しい業界の再編に伴う受注減少対策や少子高齢化による需要減少対策が急がれています。

しかしながら、こうした変動は、身軽な企業においてはニツチを生かす大きなチャンスとも言え、各社の経営姿勢が問われています。幅広い情報の中から自社に役立つような情報を見つけ出し、それを自社に落とし込むことができるように加工することがこれからの経営には必要になると思われるます。そして何よりもチャレンジには、社員との協理解解が欠かせません。それができるか否かは経営者のリーダーシップ如何にかかっていると思います。

群馬県コンクリートブロック事業協同組合

代表理事 柳澤 佳雄

新年明けましておめでとうございます。旧年中は格別なるご支援とご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は「アメリカファースト」

のトランプ大統領が就任し、先行き不透明感が増しています。また、米国のTPP離脱は日本経済にとって決して好ましい状態ではなく今後の大きな課題となるでしょう。

国内では衆議院選挙で与党が大勝しました。新党ブームの風は吹きませんでした。日本での2020東京オリンピック・パラリンピック開催まで安定した政権運営が続けば、国内景気を含め、良い展開が期待されます。

また、昨年は我々の業界にとつて製品規格であるJISが7年ぶりに改訂され、より高品質の規格に変わりました。他業界で昨年に問題となつた完成検査の偽装や検査記録の偽造による認証工場の取消し等が発生しないよう、全組合員が社内規格の遵守による品質の維持と「生活必需品」としての安定供給に努め、ユーザーの信頼に添えるべく努力して参りたいと考えております。

本年も会員の皆様のご協力を得ながら未来発展のため、事業に邁進させて頂きたく、ご指導ご鞭撻の程宜しく申し上げます。

群馬県製麺工業協同組合

理事長 星野陽司

我々麺業界は、少子高齢化の進行に伴う人材確保難の中で、販売量の低迷が続いています。こうした中であつて、平成27年4月に「食品表示基準」が改正・施行され、栄養成分表示が義務化されました。さらに28年4月には製造所固有記号やアレルギー表示方法が見直され、加えて、昨年9月には「加工食品の原料原産地表示制度」が施行されるなど、矢継ぎ早の改定への対応に追われ、大きな負担を強いられる状況にあります。

また、衛生管理の更なる向上を図ることを目的に、「HACCPの制度化(義務化)」が本年の導入に向けて検討されており、さらなる負担が想定され事業継続性の観点からも極めて厳しい状況に置かれております。

現在でも、徹底した衛生管理による高品質商品の提供が高いレベルで要求されるなど、個々の企業負担は益々増大しており、厳しい局面に直面しています。



このような状況下ではありますが、消費者が求める「安心と美味しさ」を追求し、国民の主食の一端を担う業界として、麺食文化を守り、関係法令の遵守に努め、価値のある製品を提供していくことが私たちの基本であります。

昨年は、地産地消と食育の観点から県内の幼稚園児に県産小麦を使った「貝だくさんうどん給食」を提供し麺食の利用促進に努めました。また、昨年同様に「美味しい上州のひもかわうどん」の広告を月刊誌「今日の料理（NHK出版発行）」と週刊誌「週刊文春」に掲載し、群馬県のうどんの美味しさをアピールいたしました。

本年も昨年続き、ぐんまの郷土料理の「おつ切り込み」と「ひもかわうどん」を積極的に宣伝し、地域食としての「めん」を通しての家庭づくりや人々のコミュニケーションづくりなど、生活者の食の豊かさや麺食文化の向上に努めて参ります。

群馬県鐵構業協同組合

理事長 大竹 良明

新年明けましておめでとございます。

昨年度は、一昨年に引き続き鉄骨需要が500万トン超えとなり堅調に推移しました。本年は、東京五輪・パラリンピック関連施設の工事、度重なる各地域における自然災害への対策、また、新設が予定されている県内コンベンション施設や、更新時期を迎える社会基盤の整備などの工事が本格化することから、底堅い需要が継続するものと予想されます。

しかし、この環境がいつまでも続くとは考えられません。いずれ厳しい環境になることに備え、比較的余裕のあるこの時期でなければできないこと、例えば、生産性向上を目的とした「品質管理体制の強化」や「人材育成」などの推進、また、「雇用の安定」、「労働に見合った処遇」、「休日の確保」など労働環境の改善に努め、今日的な労働観に沿った対応を進めていく所存です。

群馬県生コンクリート工業組合

理事長 高木 康夫

明けましておめでとございます。新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

私も群馬県生コンクリート工業組合は、生コンクリート製造業29社37工場で組織されている業界団体です。建設資材産業として県土の発展に貢献して参りました。

しかしながら生コンクリート製造業を取り巻く環境は大変厳しい状況が続いております。厳しい状況ではありますが、新年にあたり、顧客の皆様の一層にこころを配るため、品質管理を徹底し高品質な生コンクリートを提供できるよう取組んで参ります。

どうか関係各位におかれましては倍旧に増しまして、ご指導賜りますようお願い申し上げますと共に、皆様方のご健勝、ご発展をご祈念申し上げ新年のご挨拶いたします。

群馬県鍍金工業組合

理事長 伊藤 淳

自動車関連（特にトラック）は概ね好調で受注が増えておりますが、日産・スバル関連の国産車の部品を受注している組合員は、一連の検査偽装問題により影響を受けています。一方で、輸出向けは横這い状態となっております。

人材面では、製造業全般にわたって人手不足傾向が続いています。応募者側が週休2日、有給休暇取得、残業なし等、給与額よりも、福利厚生面を重視する傾向が見られるので、制度を整え、良い人材を確保するように努めていきます。

さらに、インターンシップの実施により、若い働き手の確保に力を入れる組合員も増えつつあります。加えて、顧客の新規開拓のため、積極的に展示会に出展し、増収増益につなげている組合員も増えてきています。





前橋機械金属工業協同組合

理事長 金 井 正 直

新年明けましておめでとございます。旧年中は格別なるご支援ご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

昨年また国際情勢に翻弄される日本経済でありました。特に、米国新大統領の言動、中国の蠢動、EUの揺らぎに影響されました。親企業の海外移転、生産縮小、原価低減の諸活動は拡大しており、今後が憂慮される年の始めです。

非製造業

赤帽群馬県軽自動車運送協同組合

理事長 赤 間 美代子

平成30年、新年あけましておめでとございます。

昨年は、国内企業の堅調な設備投資や雇用環境の改善等緩やかな回復基調で推移いたしました。また、自然災害などの被害が多

主要企業の業績は好調に推移しており、株価も高値を保っておりますが、全国の大部分を占める中小企業はその恩恵に浴しておりません。個人消費の低迷、少子高齢化に伴う人手不足、人材の確保、合理化、省力化、新産業創出育成、企業誘致等々課題は山積しておりますが、組合員一同、一丸となり取組んで参ります。

当組合は、創設68年を迎える今年も、第48回伊勢神宮奉賛をはじめ、各種研修会、親睦会を通して結束を固めて参ります。

関係皆様の尚一層のご支援・ご指導をお願い申し上げます。



く発生するなか、防災協定に基づき、県の防災訓練にも参加し、救援物資の搬送訓練を行いました。私たちは道路が職場ということである年、救命救急の講習会を実施し、多くの組合員が修了証を受けています。

私たち軽貨物運送業界も、高齢化は進んでいます。昨年は若い世代の参入が多数あり、年度末では前年対比純増6名という結果に

なりました。

また、昨年9月に18名で青年部を立ち上げ、次世代を担う組合員と執行部との協力のもと「道の駅ふじみ」にて、産業祭に参加し、ゆるキャラ「あかぼつくん」とともに赤帽の認知度アップを図るなど、組合の未来に向けた活動を開始しました。

本年5月には、組合創立40周年を迎えることになり、組合員全員で心をついにし、新たに次の目標に向かって邁進していく所存です。指導ご愛顧いただけますように、お願い申し上げます。

ぐんま共済協同組合

理事長 田部井 俊 勝

新年、明けましておめでとございます。旧年中は格別なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年のぐんま共済は、専門知識のある「共済募集人」からの対面による丁寧な説明や提案を重視し、県外視察を含めた職員知育研修の強化を行うとともに、新

たな共済制度の開発や査定部門の充実強化、認知度及び資質の向上に積極的に取組んでまいりました。

本年も、群馬県の産業を支える中小企業者の皆様、安心して経済活動に専念できる環境を提供し、真にお役に立つことができるよう事業内容の一層の拡充に努めてまいります。何卒変わらぬご指導ご厚誼の程お願い申し上げます。

群馬県家畜商業協同組合

理事長 阿 部 勝 美

現在、当組合の主たる事業であり、運営を行っている前橋家畜市場は、飼養戸数、飼養頭数の減少、後継者不足等の要因により入場戸数が減少傾向にあります。今後も減少が続いていくことが予想され、市場運営に支障をきたす恐れがあります。

このような厳しい状況の中、市場運営の安定を図るため、新規利用者の開拓や老朽化している施設の改修を行い、利用者の利便性の向上を図る等の施策を行っていき

ます。また、組合員が一致協力し、県内外の生体牛の流通促進に今後
も貢献していく所存です。

協同組合群馬県機械設備工業会

理事長 串 田 紀 之

運営効率化を目指し、発展的に
解散した「群馬県冷凍空調設備工
業組合」の事業を受け入れるため、
組織再編を行い、組織名称も「群
馬県管工設備協同組合」から「協
同組合群馬県機械設備工業会」に
変更して再スタートしたのが、平
成27年11月でした。

そして、事業統合の効果を検証
しつつ2年弱が経過した昨年7月
の第2回総会では、次代を見据え
た更なる一歩として、「次世代委員
会」を新設し、6委員会体制での
運営を開始しています。

次世代委員会の活動は、東京五
輪後・IT活用・人手不足といっ
た業界の課題に直面する次世代の
組織や企業運営に向け、今何が必
要なのかを洗い出していくことが
目的です。

働き方改革と深刻化する人手不
足への対応が喫緊の課題である建

設業界にあつて、管工事業と冷凍
冷蔵空調工業を中心とした設備
工業の団体として、水道等の地
域のインフラのみならず、フロン
対策といった地球環境対策の一翼
を担う業界団体としての自覚を
もって、次代を見据えて参ります。

協同組合群馬県建築設計 センター

理事長 清水 建 二

謹んで新年のご挨拶を申し上げ
ます。

協同組合群馬県建築設計セン
ターは、官公庁、諸団体等発注の
建築設計、工事監理等の共同受注
事業を行っています。

公共建築物は昭和40年代から60
年代にかけて多くの新築工事が行
われましたが、現在は建築物の長
寿命化を図る要請を受けて、耐震
改修設計、省エネ改修設計、バリ
アフリー改修設計等様々な改修設
計が行われています。

当組合は、創設以来、約45年間
にわたり公共建築物の設計監理の
経験を有しており、現在まで組合
員の技術力の向上を図っておりま
す。今後も、関係各位の皆様のご

指導の下、多様なニーズに的確に
応えられるよう努力していく所存
ですので、どうぞよろしくお願ひ
申し上げます。

群馬県高圧容器整備協同組合

理事長 遠 藤 祐 司

謹んで新年のお慶びを申し上げ
ます。

エルピーガス業界におきまして
は、電力・ガスの小売事業が自由
化され、一般消費者が価格やサー
ビスを比較考量し、自身がエネル
ギー供給を受ける事業者を自由に
選択することが可能となり、エネ
ルギー間の垣根を越えた競争が行
われてきました。エルピーガスを
扱う当組合の検査所は、供給構造
の改造を通じて、コストを制御し、
利用形態の多様化を促進すること
に邁進しました。

今後とも、平時・緊急時にも機
動力を発揮できるよう、クリーン
エネルギーを扱うエルピーガス業
界に貢献すべく、高い意識と意欲
を持ち、保安の確保を最重点課題
として努力して参ります。

本年も皆様方のご支援並びに関

係各位のご指導を賜りますようお
願ひ申し上げます。

群馬県再生資源事業 協同組合連合会

会長 上 岡 克 己

あけましておめでとございま
す。

我々の業界は、古紙・金属類の
資源価格の変動、資源物の減少化、
競争入札の導入による組合事業の
停滞や、後継者問題から事業の継
続を断念する事例など、多数の課
題を抱えつつも、地球規模の環境
保全問題を踏まえ、再生資源業界
の果たすべき社会的な役割は、こ
れまで以上に重要性を増してきて
おります。

群資連の三つのスローガンであ
る「次世代に繋げようリサイクル
の輪」、「地球環境の保全を真剣に
考えよう」、「市民・行政・群資連
の連携関係強化」の下、循環型社
会形成の一貫を担うとともに、「和」
をもつて業界発展に邁進して行き
たいと考えます。



群馬県自転車協同組合

理事長 木村 順一

新年おめでとございます。

本年、群馬県自転車協同組合は創立60周年を迎える特別な年であります。平成25年に「自転車は車両である」と道路交通法が改正されたことが示すとおり、自転車の重大な過失により加害者になる事故が多発しております。

弊組合ではこうした事故を未然に防ぐことを目的とした「自転車学校安全点検・街頭指導・マナーアップ運動」の実施に取り組んでおります。また、県交通安全協会が実施している「子供自転車大会・高齢者自転車大会」への協力を行っております。

少子高齢化等の影響で組合員が年々減少しておりますが、各種イベント等を通じ、自転車の利便性・安全性をさらに向上させ、組合員一同、業界の一層の発展に向けて努力していく所存でございます。

群馬県自動車車体整備協同組合

理事長 福島 行孝

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

車体整備の高度化はスピーディに変貌し、各メーカーもハイブリッド車からEV車、電子系統、新素材超高張力鋼板の生産体制の時代となりました。これらの高度化に伴い、当組合では平成29年度からEV特別教育講習、新素材に対するの新技术の実習と整備士再教育並びに整備士養成、先進安全自動車ASV修理の座学のすべてを率先垂範で実施しています。

安全安心、ユーザーへの信頼、環境公害対策、さらには法令順守の観点から労基法に基づき、作業現場での改善を推進して参りますので、なお一層のご支援ご鞭撻を願ひ申し上げます。

群馬県柔道整復師協同組合

理事長 櫻井 弘

あけましておめでとございます

す。旧年中は格別のご高配を賜り、衷心より感謝申し上げます。本年も宜しくご指導の程をお願い申し上げます。

昨年は、組合創立21周年目にあたり、11月の第2日曜日を「協同組合の日」と定め、青年部と共催で「第一回組合まつり」を開催いたしました。

第1部の講習会では、コウ鍼灸治療院長・堀口三恵子氏をお招きし、「美容法に活かす操体法と美容鍼のリスク管理」をテーマにご講演いただきました。続く、第2部では、指定業者によるプレゼンテーション、第3部では、組合まつり抽選会を開催し、盛大裡に挙行することができました。なお、講習会につきましては、中央会から多大なご指導ご支援を頂きありがとうございました。

業界の現状は、規制緩和による接骨院の乱立等により、益々厳しい状況にあります。これからは、健康産業という面でも対策を強化していく所存です。

今後とも変わらぬご指導、ご支援のほどを重ねてお願い申し上げます。

群馬県商店街振興組合連合会

会長 今川 守

あけましておめでとございます。

さて、我が国経済は引き続き緩やかな回復基調にあると言われてはいますが、中小小売商業の現場では、消費の伸びは鈍く、景気回復の実感は得られていないのが実情です。

こうした中、中小企業庁による「新たな商店街政策の在り方検討会」の中間取りまとめにおいて、商店街の役割が変化しつつある状況を踏まえ、かつての姿に戻すのではなく、商店街を利用する新しい意味をつくるが必要との提言がなされたところです。

傘下商店街においても、地域コミュニティの担い手としての存在意義を守り高める一方、商店街の新たな価値の創造に向け知恵を出し合い、様々な工夫を凝らした取り組みを行うなど、懸命な努力を続けているところです。

本連合会といたしましても、まちの資産である商店街の価値をさ



らに高め、地域に求められる商店街であり続けられるよう、責任と誇りをもって支援に携わる所存でありますので、関係各位の一層のご指導・鞭撻のほどを宜しくお願い申し上げます。

一般社団法人群馬県信用組合協会

会長 小林 正弘

雇用や所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあつて我が国の経済は緩やかに回復していくことが期待されておりますが、人手不足や人件費の上昇などにより、中小・小規模事業者においては景気回復の実感が得られない状況が続いております。

高崎市の「上野三碑」が世界の記憶に登録されました。県内では富岡製糸場及び絹産業遺産群の世界遺産に次ぐもので、地域活性化や観光振興などが期待されております。

日本銀行によるマイナス金利政策の継続により、金融機関の収益環境は厳しい状況が続いておりますが、私たち県内3信用組合は地域社会の活性化や地域経済の発展

に貢献できるように努力してまいりますので、本年もよろしくお願いたします。

群馬県石油協同組合

理事長 鈴木 明弘

新年あけましておめでとございます。昨年4月に国内最大のシェアを持つJXTGエネルギーが誕生しました。群馬県でも当系列の販社が大きなシェアを占めています。

こうした販社の理解と協力を得ながら適正利益を確保できるように市況構築を進めていきたいと考えています。

今や世界的にEVの流れが加速するなど、石油燃料需要がますます減少していく中で、販売量のみを追うのは、もはや不毛なことと言えます。むしろ減少する販売環境下では、利益を上げていくのは当然のことであり、人手不足に伴う人件費の高騰等による店舗の閉鎖もありうることです。

もはや価格競争にばかり労力を費やしている余裕はなく、将来を考えるためにも、十分な余力を蓄

えていく必要があると考えます。

群馬県電機商業組合

理事長 濱川 祐作

本年も我々を取り巻く経済環境は大変厳しいものがあります。

昨年は大企業の多くが増収増益を発表していますが、我々零細な小売業者には、まだまだの感があります。

群馬県電機商業組合では、組合員が少しでも前向きに商売ができるよう地域店の経営力向上と実践活動の推進に資する「スマートライフコンシェルジュ」の資格取得の推進を強力に進めています。昨年末には最終段階の上級コースであるゴールドコース取得のためのセミナーを実施し、多数の組合員が受講しました。

また、家電や住まいの困りごと相談や高齢化社会に対する家電修理相談など、地域貢献活動も積極的に実施しています。さらに、流通環境の改善のために、家電ガイドラインの重要性のPRと公正取引委員会への申告活動の全員参加を推進しています。

消費者庁では、今やネット販売が流通全体の30パーセントを超えていると認識しています。実に3人に1人がネット上で物を買っていることになりました。街の電気屋としては今後どのように経営の舵を取るべきか真剣に考える問題です。

幸い2020年には、東京オリンピックピックが開催されます。オリンピックに向けた需要も相当数期待できるわけでありますから、今から万全を期して準備を行い、来たるべきチャンスに備えたいと思います。

群馬県電気工事工業組合

理事長 小谷野 一彦

平成30年の新春を迎え、謹んでお喜び申し上げます。

平素は弊組合の事業活動に対し、関係各位の皆様にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。年頭に際しひとことご挨拶申し上げます。

私どもの電気工事業界においては、社会インフラの再整備計画への取組みがなされるといったファ



クターにより、電気に関わる産業全体に追い風が吹いていると思われませんが、増加する電気工事の仕事量と電気工事士の数は反比例しているのが現状です。仕事のつらさから業界を離れる人が多い上に高齢化の波が著しく、今後の担い手が増えないために電気工事会社自体の継続が難しくなるといふ悪循環が目を見えます。

こうした状況の中、弊組合といたしましては、若手人材の育成と確保を喫緊の課題として捉え、引き続き、県内工業高校電気科へ社会人講師を派遣して業界の認知度と理解度を深めるとともに、産学が連携して技術者を育てる環境を整備できるよう努めていきたいと考えております。

結びに皆様のご繁栄とご健勝を祈念し、新しい年が明るく実りある年になるよう願って挨拶いたします。

群馬県トラック事業協同組合

理事長 武井 宏

昨年はヤマト運輸の無理な配送サービスの見直し・運賃値上げ・

受注荷物の総量規制等があり、さらに、免許制度の問題等を抱え、運転手不足が不安視される中、政府の働き方改革の方針に沿った労働環境の改善を進めるべく事業を展開しました。

県内運輸業界では群馬県が主催し、群馬県貨物運送事業協同組合連合会が実施している「群馬県物流人材育成・確保対策事業」を積極的に活用し、人材の採用・定着・育成に役立てております。

また、昨年4月からは高速道路6会社の車両制限令違反の取締・組合への罰則の強化が実施され、組合としての対応に苦慮しております。

当組合としましては点呼業務をサポートするための事業をはじめ、各共同事業を積極的に進め、組合員のための組合づくりに取り組んで参ります。

今後とも関係機関各位のご指導ご協力をお願い申し上げます。

群馬県バス事業協同組合

理事長 小林 勝 市

謹んで新春のお慶びを申し上げます

ます。

さて、当組合は設立以来の高速料金後納事業並びに共同購買事業に加え、平成26年度から新たに輸送共同受注事業も実施しています。

同事業は5年目を迎えますが、この間、群馬県等が主催するぐんまマラソンをはじめ、前橋市等から各般にわたるイベント輸送等にご協力をいただいているところであります。言うまでもなく尊い人命の輸送という観点から「安全・安心輸送」を第一義としています。

これにより加入する県内40の組合員の中から、平成23年度から公益社団法人日本バス協会が実施している「貸切バス事業者安全性評価認定制度」の認定を受けた事業者を中心に、観光バスとしての良質なサービス提供のほか、団体輸送、イベント輸送等様々なニーズに対応する輸送サービスに寄与することをモットーにしています。

本年も会員皆様方のご協力を得ながら、当組合発展のため事業に進捗する所存でありますので、今後とも関係各位のご指導、ご支援の程をよろしくお願い申し上げます。

群馬県板金工業組合

理事長 飯塚 忠 利

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

景気は戦後最長の回復に近づいていると言われておりますが、これまでの経済が伸び、人口が増加する時代から転じて、人口が減少する時代となり、業界を取り巻く経営状況は、厳しさが予想されます。

このような中で、建築板金業界としてできることは、我々の持つ技能・技術を適正な価格で提供していくことであり、そのために一定の技能を持った証である技能士資格を世間に周知させ、公的評価を高めていくことと、技能者を養成する仕組みを長期的な視点から運営していくことが重要であると考えています。

また、このような時こそ組織の強い団結・結束が求められるところであります。組合では、さらなる組織強化を図り、組合員の生活向上につながる事業を積極的に展開していく所存です。



群馬県ビルメンテナンス協同組合

理事長 高橋 康男

明けましておめでとございます。

群馬県ビルメンテナンス協同組合は、主に県、市より建物維持管理業務を受注し、また指定管理者として事業を行っている組合です。一般社団法人群馬県ビルメンテナンス協会と同一の会員企業から構成されております。

昨今の企業景況感は回復基調にあると先般の報道にありましたが、我々の仕事を考えると取り巻く環境は大変厳しいのが現状です。

我々の業界は、労働集約型産業であるため、人手不足、最低賃金の上昇、福利厚生や労働問題等、私たちが直接影響を受ける様々な課題を抱えております。

現在、協会と一緒にたつて外国人の受入研修や身障者研修も行っております。また、県内の官公庁、関係機関への働き掛け、各首長への陳情も毎年行っており、ビルメンテナンス業のパブリックイメージアップに努めております。

組合は今年創立30周年の節目の年を迎えることとなります。

会員皆様の努力により、様々な出来事の一つ一つ乗り越えながら、今日を迎えることは感慨深いものがあります。

組合員一丸となつて、次の節目を迎えられるよう、業界の拡大に努めていく所存でございます。

今後とも、何卒ご支援ご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

群馬県不動産事業協同組合

理事長 長井 貞二

平成30年の新年を迎え謹んでお慶び申し上げます。

昨今マスコミ等で話題になっている空き家問題ですが、空き家は通常の中古住宅の取引と異なり、所有者の特定をはじめとする物件調査に時間も経費も掛かる場合があります。しかし、成約金額が低額のため、報酬がこれに伴わず組合員にとって負担になっていました。

これを受け、国土交通省は、400万円以下の空き家等の売買

の報酬は、調査等の費用を含め18万円を上限とする「報酬額に関する告示」の一部改正を行い、本年1月1日に施行されました。

消費増税を除く報酬規定の改正は48年振りとなり、空き家流通の起爆剤になつて行くものと考えています。

終わりに、群馬県の発展と、皆様のご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶いたします。

群馬県旅館ホテル

生活衛生同業組合

理事長 森田 繁

輝かしい新年を皆様とともにお慶び申し上げます。

あわせて平素のご指導ご愛顧に衷心より感謝いたします。

旅館業界にとつての本年の最大の関心事は「民泊」が6月から合法的に開始されることです。旅館・ホテルは住宅専用地域には立地できないこととなつていますが、民泊はそれが可能となることも想定されます。そのため地域住民との軋轢が生じることがあるかも知れません。宿泊業界として危惧するところです。

当組合は本年も地域との共栄・共存を願い、お客さま第一の姿勢を貫いて参ります。

当組合では、日頃から安全・安心な業界づくりに取組んでいるところであり、全国に誇れる「温かいおもてなし」でさらなる群馬県のイメージアップに努めていきたいと思つております。

本年も皆様のご指導ご愛顧を心よりお願い申し上げます。

高崎卸商社街協同組合

理事長 吉濱 達三

新春を寿ぎ、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年は、米国や欧州、東アジアの政治経済が大きく揺れ動き、また、国内では、北朝鮮情勢や衆院の解散総選挙など、その動静に注視を強いられました。

今年こそ平穏であることを祈つて止みません。

さて、本組合は、昭和38年に組織化し、42年に日本で最初の卸商業団地として完成を見ました。お蔭様にて昨年11月には、国・県をはじめ全国各地の皆様にご臨席を



賜り、「団地完成50周年記念式典・祝賀会」を無事開催することができました。来し方を振り返り、行く先の一層の団結協調を誓う良い機会となりました。

記念式典・祝賀会は、自前の展示施設「ビッグキューブ」で行いましたが、その優れた機能や利便性に高い評価をいただきました。

この団地完成50周年を機に、近い将来に向け「2050年ビジョン」を策定しております。高崎問屋街のあるべき姿を探り、これに基づき再開発を進めて参ります。ビジネスと暮らし、さらには学びが融合したダイバーシティな高崎問屋街を目指す所存です。

わが国初の卸団地として、また、高崎副都心のランドマークとして、その矜持に恥じることなく、この新たな年に邁進致します。

皆様の社業隆盛をご祈念申し上げますとともに、本年も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

協同組合前橋問屋センター

理事長 都丸正樹

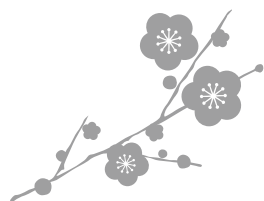
我々中小企業は、原材料や人件

費等の増により依然として厳しい経営が続けていますが、昨年相次いだ大手製造業の品質データの不正等により、今後少なからず地域経済への影響が懸念されます。

このような情勢下、地域は地域として、知恵を出し工夫することでビジネスチャンスを構築することが求められています。

当組合施設「前橋問屋センター会館」は、西毛広域幹線道路の開通等によりアクセスが良くなるとともに貸室が11室あり、数名から350名まで対応できるなど、様々なビジネスシーンでのご利用が可能となっております。

さらに、ホームページから貸室の仮予約もできるようになりましたので、皆様のご利用をお待ちするとともに、今年一年が皆様にとりまして最良の年となりますようご祈念申し上げます、年頭のごあいさついたします。



青年経営者

群馬県中小企業団体青年協議会

会長 境野泰照

群馬県トラック事業協同組合

青年協議会 監事

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

群馬県中小企業団体青年協議会では、昨年の夏季研修会において、会員企業のPRを中心としたグループディスカッションを実施致しました。会員青年部に止まらず所属する部員間の交流を深め、連携の一助とすることを目的としました。研修会では、業界の行情や各企業の経営方法等について活発な意見交換を行いました。

中小企業において異業種連携は重要であり、その第一歩となるのが交流であると思います。互いを知り、異業種の生きた情報を取入れ応用し、業界の常識や慣行に捉われず、前向きに実践することによってイノベーションが生まれ、明るい未来を掴み取ることができると考えております。

本年も会員、会員企業、業界、さらには地域経済の繁栄に力を尽くしていくため、積極的に活動を展開して参る所存です。皆様のご指導、ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

